

column

スポーツ歯科外来

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた 取り組み <第2回>

本学ではスポーツ歯科学を歯学部学生の必修化科目としており、スポーツ界に貢献する若手の育成にも力を入れています。今回はマウスガード（マウスピース）作製の実習を取材し、学生に指導する際のポイントや、マウスガード（マウスピース）の重要性等について、スポーツ歯科外来の中禮宏先生に聞きました。



Q マウスガード（マウスピース）を製作するときの注意点は？
咬み合わせの調整は、必須です。材料を圧接して、外形を切断しただけのものは、良いマウスガードとは言えません。

Q 学生を指導するときの注意点は？
歯科材料の多くは、「硬い」材料ですが、マウスガードは軟質です。切削感や研磨感が大きく異なるので、そこを理解してもらうように指導しています。最先端の作製方法を学ぶことも重要ですが、まずは基本的な考え方を理解するように気を付けています。

Q 同じ人が使用する場合もスポーツ競技ごとに作る必要がある？

同一の人物が使用する場合であっても、身体の接触の有無などで競技するスポーツに合わせたマウスガードを作製することが推奨されます。また、競技時と、筋トレなど身体の接触がないトレーニング時とでデザインを変えることも、使用時の快適性の向上に繋がります。

Q 週1回程度の使用ですが、交換頻度は？

まずは、作製してそのままとせず数月から半年に一度を目途に、定期的なチェックを推奨しております。交換頻度は、使用頻度だけでは決まりませんが、概ね一年から二年に一度は作り替えることをお奨めします。



Q 何回ぐらい通院するとで上がりますか？

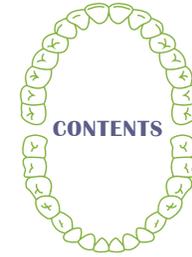
1回目で型採り、2回目で調整をすることが一般的で、2回で完成となります。使用後は、そのままとせず定期的なメンテナンス・調整が推奨されます。

Q 費用はどのくらいですか？

単層のマウスガードは、保険外の初診料・再診料を含めて（2回で完成までに）約15,000円、複層のマウスガードは、約20,000円になります。

Q 市販のものと歯科医師が製作したものの違いは？

適合度、快適性が大きく向上します。競技中に噛み続けなくても落ちてくることはありません。使用中の呼吸や会話のしやすさ・異物感や嘔吐感（吐き気）などは大きく異なります。



先端歯科診療センターがリニューアルオープン！

■スポーツ歯科外来
2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み <第2回>



先端歯科診療センターの診療ユニット

ご来院の皆様へ

本院は大学附属病院であることから、理念として「優れた医療人の育成に努め、患者さん一人ひとりにあった最高水準の歯科医療を提供します。」を掲げています。すなわち、良質で安全な歯科医療を提供するだけでなく、教育病院として将来の歯科医療を担う優れた医療人を育成すること、先端的歯科医療のための臨床研究や各種治験を推進することも本院の重要な使命であることをどうかご理解下さい。

センターのスタッフ



機能的で落ち着いた受付



プライベートな空間で受診可能

代表電話番号 03-3813-6111 (歯学部附属病院とお伝えください)
診療日 月～金 初診受付 8:30～10:30
休診日 土、日、祝日と年末年始 (12月29日～1月3日)

初診予約デスク: 03-5803-4300
予約受付日時: 平日 12:00～16:00

編集発行: 東京医科歯科大学歯学部附属病院 (〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45)
地域歯科医療連携センター広報誌編集委員会 総合診療科講師 磯波 健一/看護部副看護師長 長浦 真由美/歯科衛生保健部 木村 文香
業務課 大秋 智美/広報部特任講師 宇山 恵子(撮影)/デザイン SOYA

先端歯科診療センターが 歯科棟南3階に オープン！

2019年7月より歯科棟南3Fに移転した
先端歯科診療センターの設備をご紹介します。

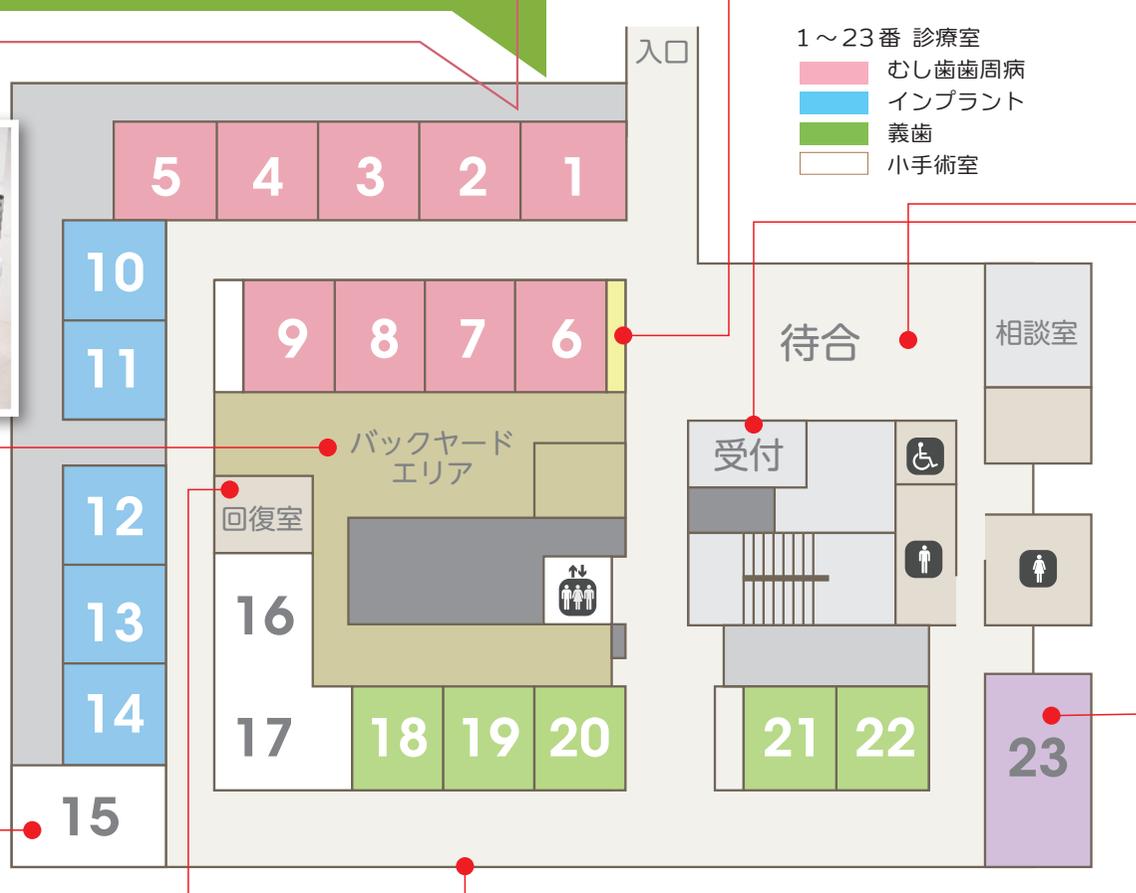


ここは患者さんの目には触れない「バックヤードエリア」で、診療に使う多数の歯科器材が用意されています。このエリアは、各ブースからオーダーのあった機材を、正確・迅速・清潔に準備して、各診察ブースに届けるという、とても重要な役割を担っています。これまでの診療室のように歯科医自身が取りに行くと、その分だけ患者さんをお待たせしてしまうこととなるため、このセンター内では器材準備をするスタッフが準備をし、使用後の機材もスタッフが片付けて、スムーズに患者さんをお待たせすることのないように分業化しております。

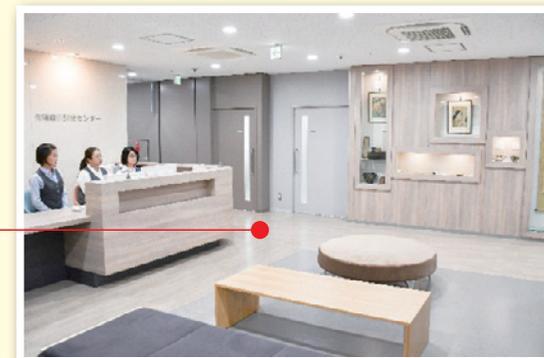


ここは患者さんの目には触れない「バックヤードエリア」で、診療に使う多数の歯科器材が用意されています。このエリアは、各ブースからオーダーのあった機材を、正確・迅速・清潔に準備して、各診察ブースに届けるという、とても重要な役割を担っています。これまでの診療室のように歯科医自身が取りに行くと、その分だけ患者さんをお待たせしてしまうこととなるため、このセンター内では器材準備をするスタッフが準備をし、使用後の機材もスタッフが片付けて、スムーズに患者さんをお待たせすることのないように分業化しております。

No.15ブースは歯周病治療（オペ室）です。小型の无影灯やレーザー治療機器が設置されています。No.16、17はインプラントのオペ室です。



待合室には歯科治療の歴史を示す品が展示されています。



◀機能的で落ち着いた雰囲気受付とゆったりした待合室です。



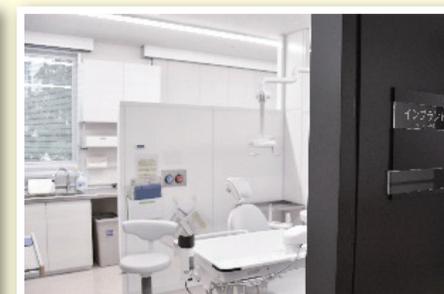
付き添いが必要な方のための個室仕様の診療ブースです。



オペ室に近いところに回復室を配置しており、手術後も安心して過ごしていただけます。



南側の廊下は御茶ノ水駅（工事中ですが）聖橋、御茶ノ水橋、そして神田川沿いの緑を眺めることができます。秋はもちろん紅葉、春は桜です。



◀診療ブースは医療安全を考慮して閉鎖的にならないように設計されています。ストレッチャーも入ることができます。